

景気回復に前向きな一面もあるが「実感」はわずか1割・・・ 「今後は回復する」「今後も回復しない」ほぼ同数

- ★ 「当面の経営上の問題点（複数回答）」について、1位が「需要の停滞」の158社。2位が「原材料価格の上昇」の63社。「ニーズの変化への対応」が52社で3位。
- ★ 「現在の雇用人員」について、75.4%（175社）が「適正」と回答。「不足」が18.5（43社）で、「過剰」が6.0%（14社）。これまでより「不足」「過剰」とも増加。
- ★ 「従業員の賃金総額の今後の見通し」について、「これまでと変わらない」が圧倒的に多く176社（76.5%）。「増加する」が30社（13.0%）で、「減少する」の24社（10.4%）を若干上回る。

平成25年4～6月期 三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査【概要】

三次商工会議所

平成25年7月に実施した第93回三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査の結果は次のとおり。本調査は、三次商工会議所管内（旧三次市）の企業を対象に四半期ごとに実施するもので今回が93回目。

市内の500事業所を抽出し、集計企業数は239社（小売業72社、卸売業28社、製造業34社、建設業57社、運輸・交通業18社、観光・サービス業30社）で回収率は47.8%。

【概況】

今期（4～6月）の調査結果を見ると、自分の事業所の状況をどう見ているかを示す業況DIは、全業種平均で▲26.6と、3ヶ月前の前回調査から11.8ポイント悪化した。業況が「かなり好転」と答えた事業所が全体の0.4%、「やや好転」が15.6%で、逆に「やや悪化」が35.4%、「かなり悪化」が7.2%だった。同様に、売上DIも7.2ポイント悪化して▲25.8。採算DIも5.6ポイント悪化して▲33.9。原材料（商品）仕入価格は34.6から34.9と依然として高値で推移しており、特に、建設業と運輸・交通業では、低下した事業所が1社もなく、その状況が顕著に表れている。

今回事業所に対し、「アベノミクス効果によって、景気が回復しているという実感はありますか？」と尋ねたところ、「実感している」の回答は10.3%（24社）（「実感している」2社（0.9%）、「多少実感している」22社（9.4%）の合計）と、少数派だったが、「実感はないが今後は回復すると思う」が45.7%（107社）と最も回答率が高かったことから、6割弱（56.0%）がアベノミクスによる景気回復に前向きな見方をしていることが分かった。しかしながら、「実感はないし今後も回復しないと思う」と回答した事業所も44.0%（103社）あった。

昨年後半から進んだ円安や株価上昇により、輸出型の大企業を中心に業績を回復させているが、中小零細企業には景気回復への期待感はあるものの、多くは実体経済の回復を感じていない結果と言える。

※ DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を示す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものでなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する。

業況DI	（好転割合）－（悪化割合）
売上DI	（増加割合）－（減少割合）
採算DI	（好転割合）－（悪化割合）

業況は、全業種合計で今期▲26.6。業種別では、建設業を除く5業種で悪化。過去の状況を見ても、4～6期は悪化傾向が強い。ただ、同時期にDI値が▲20台を示したのは、平成17年（▲29.6）以来、7年ぶりのこと。先行き見通しも▲13.2と、期待感の大きさは感じられる。

売上は、全業種合計で今期25.8。業種別では、小売業、製造業、観光・サービス業の3業種で悪化。売上が減少したと回答した企業100社のうち、最も多かったのが「季節的な減少」（29社）。以下、「景気の低迷（後退）」（20社）、「取引先の悪化・減少」（15社）と続く。

原材料（商品）仕入価格は、全業種合計で今期34.9。業種によってばらつきはあるものの、円安の影響もあってか、依然として高止まり傾向にある。

採算は、全業種合計で今期▲33.9。業種別では、売上同様、小売業、製造業、観光・サービス業の3業種で悪化。採算が悪化したと回答した企業103社のうち、最も多かったのが「売上の減少」（81社）。以下、「売上原価（仕入・原材料費）の上昇」（12社）、「売上単価の低下」（9社）。

【当面の経営上の問題点】(上位三項目・複数回答)



【現在の雇用人員をどのようにお考えですか？】



【「アベノミクス効果」によって、景気が回復しているという実感はありますか？】



【貴社の従業員の賃金総額について、今後の見通しは？】



※百分率は有効回答数を分母として算出

【業況DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 26.6	▲ 13.2
小売業	▲ 33.3	▲ 14.1
卸売業	▲ 21.4	0.0
製造業	▲ 50.0	▲ 26.5
建設業	▲ 7.0	0.0
運輸・交通	▲ 22.2	▲ 11.8
サービス業	▲ 28.6	▲ 35.7

(好転割合－悪化割合)

【売上DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 25.8	▲ 12.6
小売業	▲ 38.0	▲ 18.8
卸売業	▲ 21.4	7.1
製造業	▲ 52.9	▲ 24.2
建設業	▲ 1.8	▲ 1.8
運輸・交通	▲ 11.8	▲ 12.5
サービス業	▲ 24.1	▲ 24.1

(増加割合－減少割合)

【採算(営業利益)DI】

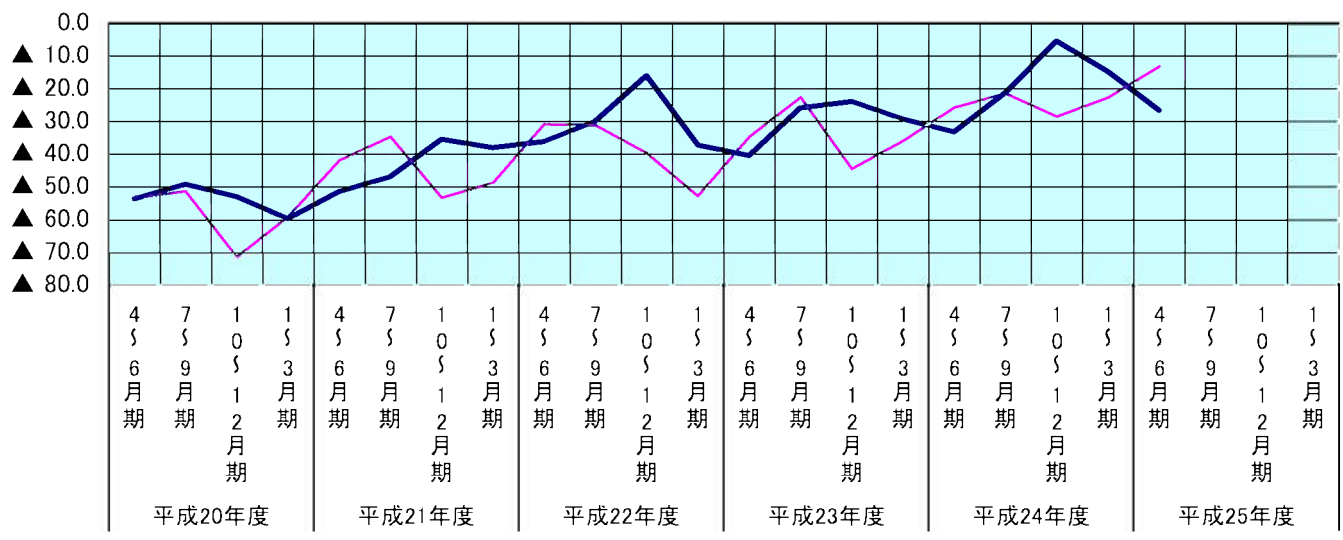
	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 33.9	▲ 24.3
小売業	▲ 43.7	▲ 24.6
卸売業	▲ 32.1	▲ 14.3
製造業	▲ 52.9	▲ 21.2
建設業	▲ 17.5	▲ 23.2
運輸・交通	0.0	▲ 18.8
サービス業	▲ 41.4	▲ 42.9

(好転割合－悪化割合)

全業種

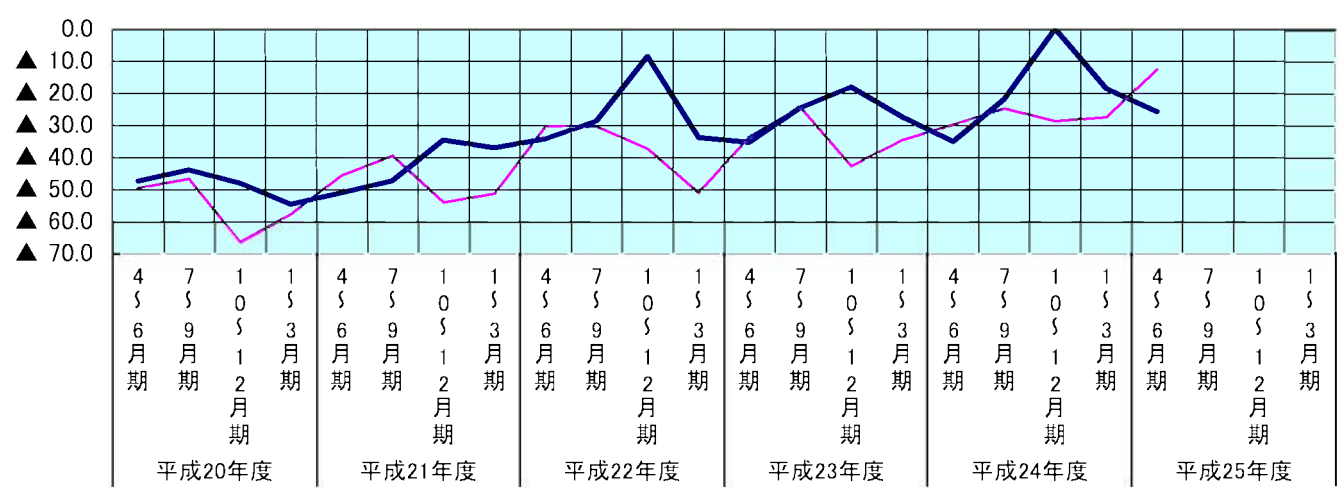
業況D.I.の推移

前期比 来期見通し



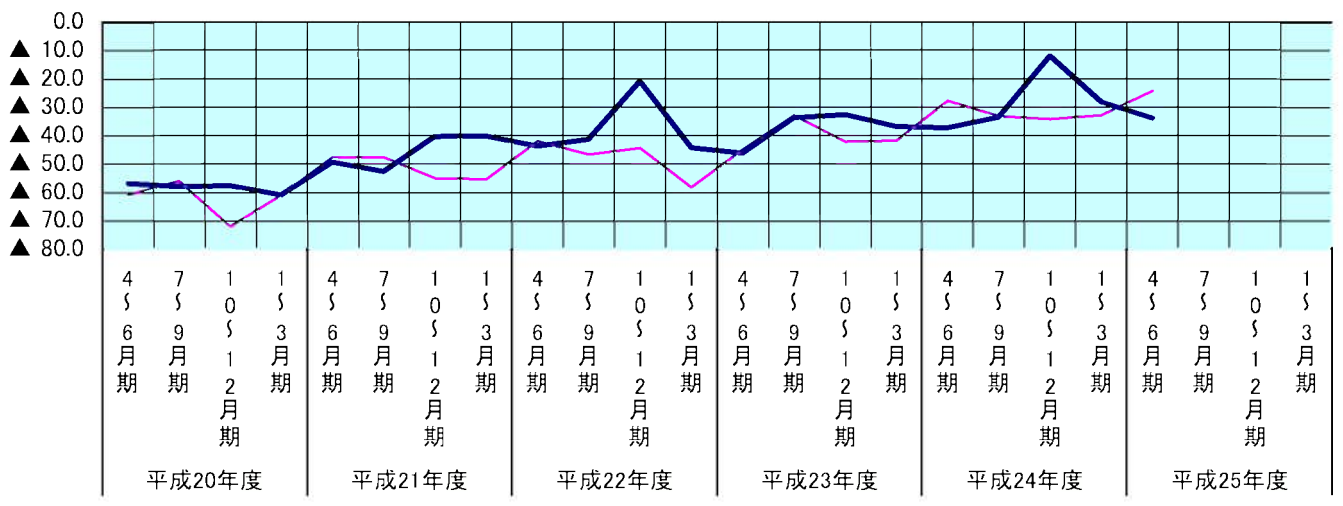
売上D.I.の推移

前期比 来期見通し

































採算D.I.の推移

前期比 来期見通し



【景気天気図】

業 種	項 目	業 況	売 上	採 算
小 売 業	4月～6月 実 績			
	7月～9月 見 通 し			
卸 売 業	4月～6月 実 績			
	7月～9月 見 通 し			
製 造 業 (工 業)	4月～6月 実 績			
	7月～9月 見 通 し			
建 設 業	4月～6月 実 績			
	7月～9月 見 通 し			
運 輸 ・ 交 通 業	4月～6月 実 績			
	7月～9月 見 通 し			
観 光 サ ー ビ ス 業	4月～6月 実 績			
	7月～9月 見 通 し			

景気天気図の説明					
					
大変良い	良い	まあまあ	少し悪い	悪い	大変悪い